平成 ２８年　９月　１５日

研修報告書

氏名：　郷司　彩

所属：徳島大学医学部付属病院　小児科

研修期間：平成　２８年　９月　６日　～　平成　２８年　９月　８日

研修場所：信州大学医学部附属病院遺伝子診療部

受講動機：普段より小児神経疾患や先天性多発奇形症候群の患者さんを診療する機会が多い為、そのような患者さんの診断や治療をする上で自然と遺伝学にも興味をもつようになりました。徳島大学の人類遺伝学科の井本教授にご教授いただきながら人類遺伝学を勉強していましたが、実際に遺伝子診療部として診療されている信州大学病院での診療を見てみたいと思い、受講を希望いたしました。

研修内容：

火曜午後：遺伝カウンセリング専門外来見学。症例検討会に参加。

水曜終日：稲荷山医療福祉センター専門外来を見学。稲荷山養護学校を見学。

木曜午前：カンファレンスを見学。次世代シークエンスの機械を見学。

木曜午後：遺伝カウンセリング専門外来見学。ラボミーティング。

研修成果：

　遺伝カウンセリング専門外来では、マルファン症候群や、その類縁疾患の患者さん家族、ポイツイエイガー症候群患者さんなど様々な遺伝疾患の患者さんの診療の様子をみさせていただきました。実際に患者さんを診察することもでき、結合組織疾患の患者さんの皮膚に触れることができたのは大きな経験でした。また、患者さんやその家族への結果開示の方法や、その後のフォローの様子なども知ることができました。

　次世代シークエンスの今後の活用についての会議では、臨床の現場にどのようにNGSを用いていくかについて、最前線の内容を詳細に聞くことができました。

稲荷山医療福祉センターや養護学校では、実際に遺伝疾患をもつ患者さんの診療や生活の場を肌で感じることができ、より臨床に近い部分での見学ができました。一方で、NGSの機会の見学や、ラボミーティング、高野先生のID外来のスライドなどでは、遺伝領域研究の最先端の情報を得ることができ、大変貴重な経験であったと思います。

その他（感想・要望・反省点、等）：

　短い期間であったため、限られた研修であったにもかかわらず、多くの経験をさせていただきました。特に、古庄先生の専門外来で、患者さんを包括的な観点から診療されている様子を見させて頂き、今後の自分の診療姿勢に大変影響を与えるものと思いました。

　反省点としましては、もう少し研究などの基礎の知識があれば、色々とより深い質問ができたと思いますが、その部分での自分の知識が足りていなかったため、簡単な質問しかできなかったことが残念に思っています。

この度は貴重な研修をさせていただき大変ありがとうございました。